

「胆嚢炎、胆嚢結石症に対する治療成績の検討」に関する研究

1. 研究の対象

2010年1月1日以降に当院で胆嚢炎、胆嚢結石症の治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

胆嚢炎や胆嚢結石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出しゅてや症例数が増え、高度な炎症を伴う胆嚢炎症例でもまずは腹腔鏡で開始することが増えてきました。しかし腹腔内所見や術中捜査により安全に手術を遂行するためには初めから開腹術を選択する場合や、腹腔鏡で手術を開始したとしても開腹術へ術式変更を行うことは避けられない場合があります。

2010年1月1日以降に当院で施行した腹腔鏡下胆嚢摘出術の治療成績の検討を行うこととしました。

3. 研究に用いる情報の種類

情報；手術時の年齢、性別、病歴（治療歴のある病気や手術歴など）、胆嚢炎に対する術前の治療歴の有無、採血結果、手術内容、術後経過、術後合併症

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

川崎医科大学 消化器外科学 窪田 寿子

岡山県倉敷市松島577

086-462-1111 内線 26503

e-mail: kubota@med.kawasaki-m.ac.jp

5. 利益相反

本研究において結果に影響を及ぼしかねない資金の受入、使用はありません。また、本研究は資金を必要としておりません。この内容を利益相反委員会に申請し適正に管理されています。